



第23回

外国人市民による日本語スピーチコンテスト

2月10日(土)に川崎市国際交流センターで、「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。寒い日が続く中でしたが、会場はほぼ満席となりました。

今回は6か国から9名が参加しました。コンテストの参加条件は「来日5年以内の外国人市民」です。審査委員長の関口明子さんからは「参加者全員の日本語レベルが大変高く、粒ぞろいで審査員泣かせでした」との講評がありました。



▲司会のオラシオン・チェリーさん
(フィリピン出身)



最優秀賞

スティーブン アンドレアスさん(インドネシア出身)
「もう独りぼっちなんかじゃない」

上位受賞2名にインタビューさせていただきました。

〔質問内容〕

- ① 日本語スピーチコンテストに参加するきっかけ
- ② テーマを選んだ理由と伝えたかったこと
- ③ 川崎の好きなところ、良いと思うこと



川崎商工会議所会頭賞

グエン ティ タイン スアンさん(ベトナム出身)
「旅から学んだ優しい日本、冷たい日本」

- ① アニメを見て日本語が好きになり、将来アニメの声優になりたいと思い来日しました。日本語学校の先生から「スピーチコンテストに参加してみないか」とすすめられたとき一度断りましたが、一晩考えて「やっぱり挑戦しよう」と決しました。
- ② 外国に住むと独りぼっちでさびしいです。でも、何か頑張って乗り越えようと、川崎市国際交流協会主催の「ワンデー・ホームステイ(ホームビジット)」に参加しました。そこで素晴らしい家族と出会って、家族の一員のように接してもらったことが心の支えになりました。さびしいとき、困ったときは「努力すれば新しい世界を見つけられる」と留学生たちに伝えたいです。
- ③ 「ラゾーナ川崎」などではイベントが多くて楽しいし、色々な国の料理の美味しいお店があるし、とても暮らしやすいです。

- ① ベトナムの大学では日本研究学科を専攻し、2017年4月から1年間交換留学生として日本に来ました。帰国まであと1ヶ月になり、日本にいる間にさまざまなことを体験してみたいと思いました。
- ② 日本人はとても遠慮深いと思います。国際化の時代なので、もっともっとフレンドリーになってほしいです。日本は「おもてなし」の国であり続けてほしいので、私の体験したことを日本人のために伝えたいと思いました。
- ③ 自然が多いところが好きです。また川崎から近い横浜、鎌倉も大好きです。これからも世界を旅行して友達をたくさん作りたいです。

(取材・原稿:編集ボランティア 小島 俊彦、福地 直子)
(写真:安田 芳郎)

第23回外国人市民による日本語スピーチコンテストの出場者 ※当日発表順

氏名	スピーチタイトル	出身国
スティーブン アンドレアス	もう独りぼっちなんかじゃない	インドネシア
裴 琳璐 <small>はい りんろ</small>	勇気をもってチャレンジしよう	中国
ローレンス ヒルダ	日本のお年寄りのように長生きするために	インド
アン サムボー	命の尊さを教えてくれた母	カンボジア
片貝 ワンウィサー	日本の印象的なこと	タイ
ドアン ティ トゥ タオ	私と日本のファッション	ベトナム
艾 楊 <small>がい よう</small>	情熱の火花―「職人精神」	中国
廖 明明 <small>りょう めいめい</small>	日本に来て	中国
グエンティ タイン スアン	旅から学んだ優しい日本、冷たい日本	ベトナム

